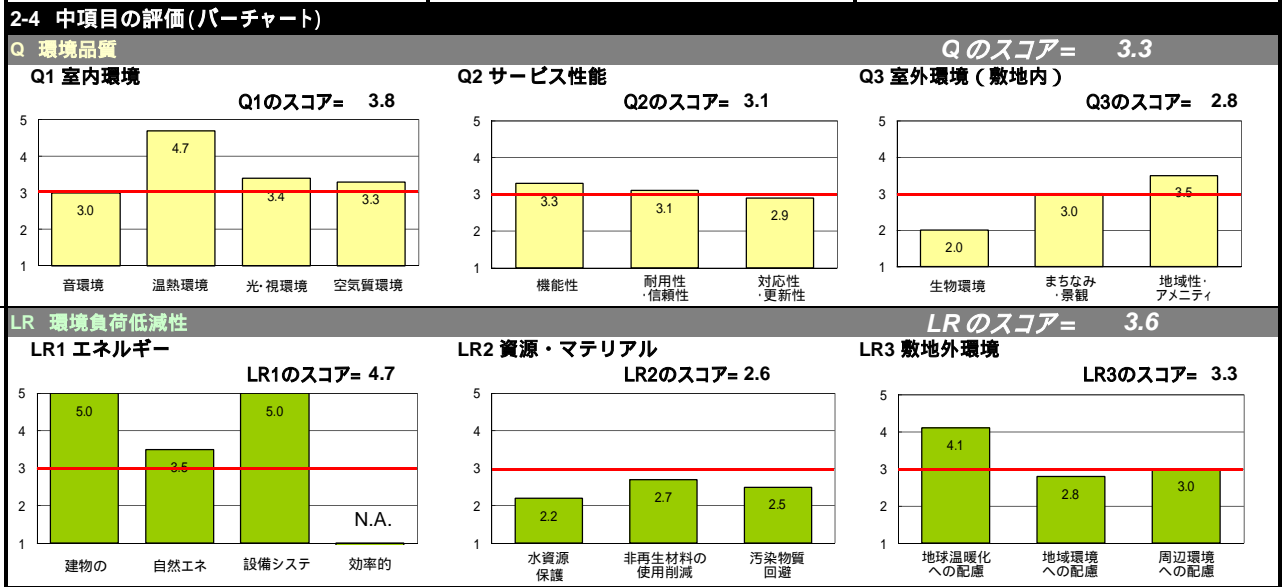
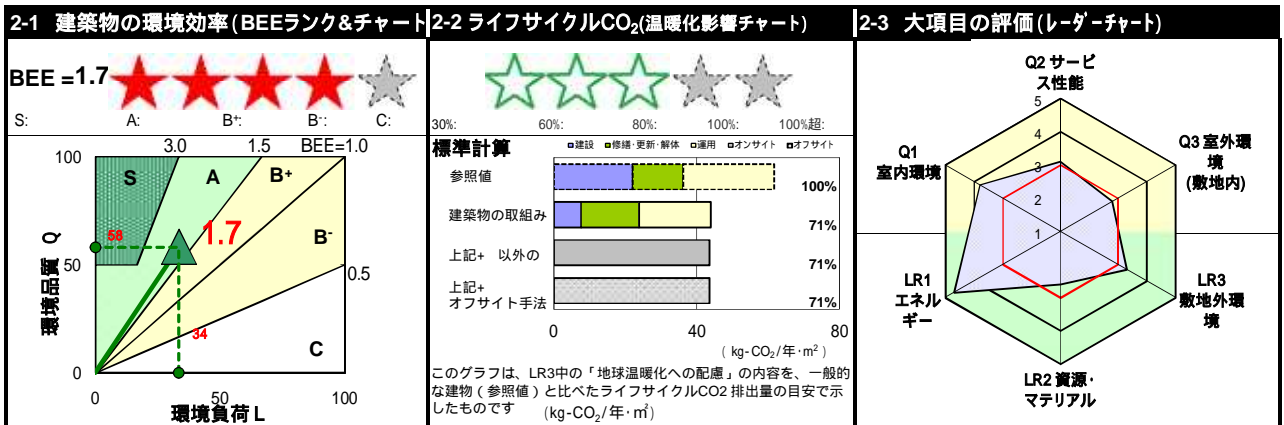


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢市鵜沼橋1丁目16計画	階数	地上13階
建設地	藤沢市鵜沼橋1-1864-19他12筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	352 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年3月31日
敷地面積	2,124 m ²	作成者	設計工房
建築面積	810 m ²	確認日	2014年4月1日
延床面積	7,176 m ²	確認者	設計工房

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合	省エネルギー対策等級4の取得、太陽光発電、潜熱回収型給湯器の利用など特にエネルギーの高効率化を図っている。その他の項目も、最低限でも基準以上の品質を確保するよう努めた。	その他 エネルギーに関しては、共用部のダウンライトを、ほぼLEDとする事で配慮を行っている。
Q1 室内環境	基準法など基準通りの設計とし、一定以上の品質を確保している。	Q3 室外環境 (敷地内) 標準的な配慮を行っている。
LR1 エネルギー	省エネルギー対策等級4、太陽光発電、潜熱回収型給湯器などを採用し、エネルギー面での高効率化を図っている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の排出を抑えている。
Q2 サービス性能	劣化対策等級3、配管支持方法が耐震クラスA、100Mbit以上のブロードバンドなど基準以上の品質を提供しているものもある。設備については構造を痛める事無く更新・修繕できるようにしている。	
LR2 資源・マテリアル	基準通りの設計としている。部材の再利用への取り組みとしてLGS工法を採用している。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される